

令和7年度北区政策提案協働事業（令和8年度実施） 公開プレゼンテーション対象事業一覧

番号	プレゼン時間	団体名	事業名	事業目的	事業内容
1	13:35～14:05	北区で子どもの遊ぶ場を作る会	外遊びによる乳幼児の 子育て親育ち応援事業	赤ちゃんとの過ごし方がわからないという悩みを抱える保護者が確実に増えている。その背景の第一は、核家族化で、赤ちゃんに触れたことなく子育てに突入り、身近に頼れる関係性がないことに起因していることに変わりはない。それに加えて近年、保育園に0・1歳から入園させる割合が高まったことで、逆に在宅保育の保護者が、「赤ちゃんのことを何も知らない私なんか」が・子育てしていいのか（保育者）にみてもらった方が育つのではないのか」という不安の高まりがある。これらの課題を解決するために、私たちは外遊びによる乳幼児の子育ち親育ちを応援する事業を提案する。子どもは遊びの中から学び、自ら成長する。大人の役割は見守ることにつぎえる。心地よい風や木々のこもれば、赤ちゃんの五感を適度に刺激し、保護者もリラックスさせるため、双方が穏やかに時間を過ごすことを確実に下支えしてくれる。北区は、令和6年に「北区子ども・子育て支援総合計画2024」、「北区子どもの権利と幸せに関する条例」を策定し、子育て子育て支援に力を入れている。私たちは、微力ながらその一助となるべく子育て子育てで悩む親子の実情を変えたい。	■1 乳幼児親子に関わる大人向け研修 概要：乳幼児期の育ち、発達に必要なことを知り、乳幼児親子への関わり方について学ぶ。 日程：6月（わくわく課の研修メニューで実施することを希望） 参加予定者：保育士、児童館職員（児童厚生員）、子育て支援施設職員、乳幼児の発達や遊びに関わる方又は関心のある方 実施場所：北とびあなど ■2 外遊び専門家の派遣 概要：屋外の活動を希望する児童館や子どもセンター、民間事業者などに講師を派遣し、大会が開発したプログラム『外遊びが楽になるヒント（乳幼児ミニ講座）』を実施する。乳幼児期の外遊びの大切さや遊びを通して子どもとの関わり方を学ぶ。 日程：初夏（5月～7月）に1回、秋（10～12月）に1回 参加予定者：施設職員並びに利用者の乳幼児親子（20組以下） 実施場所：王子地区の児童館、子どもセンター等 ■3（仮称）あおぞら赤ちゃんひろば 概要：参加費無料、出入り自由とし、保護者、子ども同士の交流の場をつくる。保育士など経験豊かなスタッフを配置し、親同士の繋がりを促し、子育てに関する相談や悩みに対応する。 日程：5月～翌3月（8月を除く）毎週月曜日の午前中 参加予定者：未就園児とその保護者 およそ10組 実施場所：旧いなり公園 ■4（仮称）赤ちゃん外遊びの情報提供 概要：赤ちゃんが外で過ごす様子の動画や写真をYouTubeやインスタに投稿し、乳幼児の外遊びの具体例を発信する。北区の様々なメディアのサイトと連動することでより幅広く多くの区民に情報提供をする。 日程：4月～翌3月 月1、2回程度配信
1	14:10～14:40	一般社団法人 ASHIBA	「まきコンペ」などを 通じたクリエイティブ 領域の若者によるプロ ジェクト創出と、商店 街を中心とした地域振 興	①若者の地域参画の不足と地域組織の閉塞感 北区は比較的安価な賃貸住宅が多く立地することを背景に、若年層が多く暮らしている。また近年は旺盛な住宅需要を背景に、子育てファミリー層の流入も増えている。一方、20代前半～30代前半にかけての地域参画は非常に限定的である。若者の地域参画の不足は、災害時のみならず介護やDX対応（個人・町会問わず）など平時でも課題を引き起こしている。そして若者自身にとっても、近年セルフネグレクトによる孤独死が社会問題となったように、地域との接点がないことは大きな課題である ②魅力的な都市空間を継承していくためのアイデア不足 北区は、居心地がよくにぎわいのある魅力的な都市空間を有するが、大規模再開発や地域の担い手の高齢化など、社会経済環境が変化していく中で、少しずつ失われつつある。特異な社会条件のもと成立した住商一体型の商店街モデルは経年劣化しており、空き店舗・空き家の発生、住宅の増加によるにぎわいの喪失、大規模商業施設に対する競合優位性の低下といった課題に直面している。 課題が複雑化・多元化する現代において、単純な課題解決型のアプローチで解決できる問題はほとんどない。むしろ、個人の内発的動機から始まる創造的なアイデアが、周囲の人を巻き込みながら状況を変えていくことの方が多いただろう。多数のアイデアを集め、地域を巻き込んで議論し、それを実現していくような、より実験的な過程こそが求められている。	■1. まきコンペ&ワークショップ at グレーター田端 概要：田端駅周辺は武蔵野台地の縁にあたり、高さ18mの崖を挟んで複雑な街区が形成されている。ふれあい橋を挟んだ大地の上と下にはそれぞれ商店街があり、また文士村記念館や新設される芥川龍之介記念館、JRの探車場など、北区の地域資源が眠るエリアである。一方、崖の存在により崖下の防災機能向上、そして駅へのアクセシビリティの確保という長年の課題を抱えている。このような田端駅周辺を「グレーター田端」として捉え、商店街を巻き込んで実践型の建築アイデアコンペティション「まきコンペ」を開催する。 日程：検討会議（4月上旬）募集開始（6月1日）AIワークショップ（7月上旬、8月下旬）応募締切（9月末）一次審査会（10月上旬）まきこみワークショップ（10月中旬）公開最終審査（11月下旬） 参加予定者：全国の建築・デザイン系の学生・若手、田端駅周辺エリアの地域プレイヤー 実施場所：東田端ふれあい館 ■2. まきコンペat暗渠商店街における提案アイデアの社会実装支援 概要：今年度の北区シティプランディング事業助成金で採択いただいた暗渠商店街でのまきコンペ開催に際し、コンペの賞金代わりに実装費用35万円を一般社団法人ASHIBAの負担で拠出する。来年度の4月～6月を実装期間とし、6月下旬の実装ウィークに向けて伴走メンター（ASHIBAが指定）によるメンタリングを2週に1度、採択プロジェクト向けの3時間程度のプログラムを毎月1度実施する。支援金はプロジェクトの推進のみに用いるものとし、ASHIBAがその用途を管理する。 日程：社会実装支援プログラム（4月下旬、5月下旬、6月下旬）、実装ウィークの開催（6月） 参加予定者：今年度暗渠商店街で開催するまきコンペの受賞者向け 実施場所：暗渠商店街各地 ■3. まきコンペ at グレーター田端におけるアイデアの社会実装支援 概要：上記2と同じ 日程：社会実装プログラム（12月下旬、1月下旬、2月下旬） 参加予定者：全国の建築・デザイン系の学生・若手、田端駅周辺エリアの地域プレイヤー 実施場所：東田端ふれあい館